

令和 5 年 9 月 29 日現在

機関番号：32502

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H01000

研究課題名(和文) 高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目

研究課題名(英文) The Effectiveness of Employment Measures and Anti-Discrimination Laws for the Elderly and the Disabled: How Human Behaviour in Organisations Can Influence the Outcomes of Government Policies

研究代表者

高木 朋代 (Takagi, Tomoyo)

敬愛大学・経済学部・教授

研究者番号：20383367

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,550,000円

研究成果の概要(和文)：近年国際社会では、高齢者・障害者雇用において、差別禁止法に基づく政策への収斂が起きている。だが、先駆国においてさえ同法の効果に懐疑的な研究報告がある。本研究の目的は、企業の人事管理および組織における人間行動の本質に着目し、何が法や政策の効果を促進あるいは減退させるのかを、国際比較調査から定量・定性的に探究し、差別是正と雇用促進の道筋を理論的・実証的に導くことにあった。調査分析を通じて、最終的には、人々の思考、心理、行動というミクロの集積がマクロを形成しており、したがって、政策策定においては、複雑な人間行動を観察し、その特質を織り込むことが重要との結論を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国際社会は差別禁止法が差別や雇用問題を解決していくという道筋を想定している。対して本研究は、「実際に働き活躍する実例が社会に示される 人々の差別意識の希薄化 更なる雇用拡大」という道筋が現実的であると仮定し、差別禁止法に基づく政策への世界的収斂に対して学術的に問題提起を行う研究である。また、国際社会における高齢と障害を同時並行で論じる視点を取り入れ、国際的議論の俎上に日本をのせる試みでもあった。本研究の成果は、欧米型と日本型法制が混在し難しい局面を迎える日本への政策提言を導くという社会的意義を持ち、中長期的には、日本だけではなくグローバルな視点から「共生社会」実現の一助となる視点を示している。

研究成果の概要(英文)：As far as the employment of the elderly and the disabled is concerned, the international community has been oriented towards policies based on anti-discrimination laws. However, even in pioneering countries, there have been investigative reports that express doubts about the effectiveness. We tried to identify by quantitative and qualitative analyses of international comparative surveys what enhances or diminishes the effectiveness of laws and policies, and showed both theoretically and pragmatically the possible path to rectifying discrimination and encouraging employment. Since the macroscopic view of society should be understood as an aggregate of microscopic elements such as human thinking, psychology and behaviour, it is important to observe complex human behaviour and to incorporate such factors in policy-making. In mid- to long-term estimates, it is hoped that our global outlook will lead to a new policy stance that will help to bring about a truly inclusive society.

研究分野：人的資源管理、労働社会学

キーワード：高齢者 障害者 雇用政策 差別禁止法 人間行動 国際研究

1. 研究開始当初の背景

高年齢者・障害者の雇用促進は国際的に益々重要な課題となっており、本研究開始当時の学術的背景として次の点が挙げられる。第1に、国際社会の主流的考えは、「合理的配慮」によって社会的包摂・公正が実現されるというものであり、差別禁止法に基づく政策への世界的な収斂が起きている。しかし、こうした統一的な政策が各国に適合し効果を発揮しうるかについては、検討が必要である。なぜならば、差別禁止法が法制化されたとき、その効果は各国の歴史・文化・社会・経済・政治と不可分であり、様々な調整が必要と考えられるからである。

第2に、国際社会が採用する差別禁止法は、大別すれば、「機会の平等（人々を同じスタート地点に立たせる）」政策といえることができる。だが、「役割を担い活躍する高年齢者および障害者の姿が具体的に示されることによってこそ、人々の中にある差別意識は薄れ、健全で活力ある社会が実現する」という、本研究の従前の研究から生じた見解も否定できるものではない。職場において「活躍する高年齢者・障害者」の姿が具体的に示されるためには、雇用の主要な受け皿である企業による雇用促進のための人事管理と、その結果としての人々の意識変革に目を向ける必要がある。

第3に、本研究では従前の調査研究により、就業選択の岐路に立った人々が、「すりかえ合意」行動を発動していることが見出された。「すりかえ合意」とは、本来は当該企業で働きたくとも、状況を鑑み、自分の真意をすりかえて、周囲からも期待されている二次選択（引退や転職）を受け入れ、また主体的にそれを選択し合意に至ることをいう。さらに、こうした行動が日本の高年齢者だけでなく、英国の高年齢者や障害者の就業行動にもみられることを見出した。このすりかえ合意のように、意図せざる人々の就業行動が発動した場合、どのような法や政策であっても、その効果は減じられる。だが同時に、このミクロな人間行動が、結果的に、良し悪しは別として、労働力均衡というマクロな事象を導いている可能性がある。このような人々の思考、心理、行動が、国籍や個人レベルの違いを超えて生じているとするならば、このことが、各国の法や政策の効果にどのような影響を及ぼしているのかを明らかにすることが求められる。

2. 研究の目的

本研究は上述の背景を鑑み、次のことを明らかにすることを目的とした。第1に、各国の雇用政策・差別禁止法の制度枠組みとその効果を把握するとともに、日本の雇用政策の課題と効果を明らかにする。特に、国際社会の主流である差別禁止法と、日本が採用する割当制度（法定雇用率制度）および年齢を具体的に設定する雇用安定法との両政策・制度の違いに着目し、公開データ二次分析、国際制度比較、および関係省庁や使用者団体等への訪問調査によって解明する。

第2に、雇用を促進する企業の人事管理と、組織における複雑な人間行動を、企業、当事者、関係者等へのヒアリング調査によって考察し、さらに、7カ国サーベイ調査（質問票調査）によって、定量・定性的に探究する。

第3に、雇用の進展（すなわち、「活躍する高年齢者・障害者の姿を具体的に示す」こと）と人々の差別意識の変化との関係を、本人、家族、企業等へのヒアリング調査および文献調査を通じた理論研究によって考察する。

これらの調査研究により、従来マクロ視点から議論されることが多かった法と政策の問題に、企業と人の分析というミクロ視点を加味し、政策策定に織り込むことの意義を検討し、差別是正と雇用促進をより効果的に促す道筋を、理論的・実証的に導くことを目指した。

3. 研究の方法

(1) 研究代表、分担者、連携者(協力者)が上記課題に関して、それぞれの分野の先行研究および関連文献を渉猟し、理論研究および制度比較分析を行った。分野は、人的資源管理、社会学、社会政策、法学、社会保障論、経営学、労働経済学、統計学、老年学、医学、哲学、健康科学、障害学など多岐にわたる。

(2) 厚生労働省「障害者雇用実態調査(平成20年度調査)」「障害者雇用実態調査(平成25年度調査)」「障害者雇用実態調査(平成30年度調査)」「生活のしづらさなどに関する調査(平成23年調査)」「生活のしづらさなどに関する調査(平成28年調査)」の個票データを用い、上記課題について考察すべく二次分析を行った。これにより、企業における雇用の進展と実態、課題を明らかにした。

(3) 7カ国(日本、英、米、仏、独、伊、スウェーデン)について、サーベイ調査(質問票調査)を行い、先の研究課題に即して、各国の諸特徴、企業の人事管理、組織における複雑な人間行動が、雇用政策・差別禁止法の効果に与える影響について定量的に分析を行った。実査は2022年3月、回収方法は各国の人口構成に準ずるランダムサンプリングで行い、基本、乱数に従うが状況をみてウェイトバックを行った。対象者は18歳~79歳、目標サンプル数は各国1500ssで設定した(計10500ss)。なお、障害当事者等の回収として各国10%(150ss)を目指した(ただし割付は行わない)。設問数はフェイス(10問)を含め全40問程度とした。

(4) 各国ヒアリング調査を行い、前述の各国の諸特徴、企業の人事管理、組織における複雑な人間行動が、雇用政策・差別禁止法の効果に与える影響について定性的に分析を行った。7カ国(日本、英、米、仏、独、伊、スウェーデン)のうち、特に日本、英、独、スウェーデンを中心に、関係省庁・自治体、企業、作業所、施設、学校、支援組織・団体、研究機関、当事者、当事者家族等、計86団体、236名へ、インタビューおよび聞き取りを行った。なおこのヒアリング調査には、通常の聞き取り調査・インタビュー調査の他に、ライフストーリー分析、ナラティブアプローチ、6年間にわたる複数回の聞き取りが含まれる。

(5) COVID-19による制約から上記に加え、オンラインを用いた調査員による聞き取り調査(現地語)を行った。対象国のうち4カ国(米・英・仏・伊)に対して、高年齢者および障害者雇用を実施する企業の人事担当者を対象に行った。各国4社を目標に、調査会社が保有するパネルに登録している者の中から、企業規模、所属部署で対象を絞り込み、候補者に架電にてスクリーニングをかけ、確実なバックグラウンドチェックを行ったうえで、同意を得てヒアリング調査を行った。

(6) 高齢・障害に関する人々の意識の変遷を解明すべく、小説・劇・映画・アニメ・漫画等の文芸作品をその国の文化的、経済的、政治的文脈と合わせて読み解く文芸作品分析を行った。過去の人々にインタビューはできないが、しかしその時代・国の人々の意識は文芸作品に表れている。また逆に、その時代・国の文芸作品が意図的あるいは無意識的にその時代・国の人々の意識を操作している可能性もある。「人々の意識は決して固定的な

わけではなく、比較的短い期間で推移している可能性があり、変化させることが可能」という仮説をおき、分析を行った。〔本研究を遂行するために、当初の研究計画から新たに派生した調査研究。〕

(7) 研究代表、分担者、連携者(協力者)の担当研究調査の進捗確認と、研究グループとしてのチームビルディング、各担当研究に関するメンバー間でのディスカッションのために、夏期と春期を除き毎月1回、年10回程度の研究会を研究期間中に継続して行った。これにより、着実な研究調査の進行を図り、また問題意識や知見の共有、研究の方向性の再確認や修正等を図ることが果たされた。

(8) 研究メンバー

(代表)

高木 朋代 敬愛大学経済学部 教授

(分担)

肥後 裕輝 九州大学留学センター 教授

水町 勇一郎 東京大学社会科学研究所 教授

山田 篤裕 慶應義塾大学経済学部 教授

金子 能宏 一橋大学 経済研究所 教授〔2019年度まで〕

西脇 暢子 日本大学 経済学部 教授〔2017年度まで〕

(連携(協力))

清野 絵 厚生労働省国立障害者リハビリテーションセンター障害福祉研究部 室長

佐藤 邦政 茨城大学教育学部 助教

高岡 英氣 敬愛大学経済学部 教授

芳賀 理彦 日本大学国際関係学部 教授〔2020年度から〕

米田 紘康 桃山学院大学経済学部 准教授〔2021年度から〕

金 珍淑 敬愛大学経済学部 准教授〔2020年度から〕

渡 正 順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授

堤 英俊 都留文科大学教養学部 准教授〔2020年度から〕

壁谷 彰慶 東洋英和女学院大学人間科学部 非常勤講師〔2020年度から〕

田中 未央 敬愛大学教育学部 准教授〔2022年度から〕

谷木 龍男 東海大学体育学部 准教授〔2022年度から〕

荒木 宏子 慶應義塾大学経済学部 研究員

守島 基博 学習院大学経済学部 教授

大津 唯 埼玉大学大学院人文社会科学部 准教授

熊代 尚記 金沢医科大学糖尿病・内分泌内科学講座 教授

菊地 建至 金沢医科大学一般教育機構人間科学領域医療人文学 講師〔2020年度から〕

George Leeson 英国・オックスフォード大学 Population Ageing 研究所 副所長

Nora Gilgen スイス・チューリッヒ大学アジア・オリエンタル研究所 博士課程

4 . 研究成果

上述の理論研究、制度比較分析、既存データの二次分析、国際サーベイ調査、各国ヒアリング調査、文芸作品分析を通じて見出された主な知見を以下に記す。

1) 二次分析及びヒアリング調査により、a) 国際社会で主流となっている差別禁止法といった理念法だけではなく、具体的に設定された法定雇用率および年齢を具体的に設定した雇用安定法が、高齢・障害者の雇用促進においては実質的に重要な役割を持つ、b) 高齢・障害者雇用には支援システムの構築や補助金などの面で、政府・自治体の積極的関与が必須となっている、c) 今後は精神障害者の雇用促進が要となる、d) 障害の程度や疾病および職種などの個人属性を統御した上でも、知的および精神障害者の賃金に、企業規模による格差が生じていることが明らかとなった。

2) サーベイ調査、ヒアリング調査、各国制度比較分析を通じて、a) 差別禁止法という理念法のみでは差別意識は低減してはならず、増幅させている面も認められる、b) 日本以外の国では、高齢と障害は同時並列で議論され、雇用の現場では一元管理されており、このことにより、結果として身体・精神障害者が雇用の中心となり、知的障害者雇用とは二分されている、c) 日本以外の先進諸国では、知的障害者が一般企業で就業することは日本以上に限られており、特殊学校を経て国営・準国営の作業施設や作業所に就労するケースが多い、d) 雇用率等の数値で比較すると、一見して日本は OECD 諸国の中でも障害者の就業率が低く見えるが、障害の定義が異なる点、また障害認定の程度が異なる点で、実態としては日本における障害者雇用は他の先進諸国に比して進んでいる、e) 欧州においては欧州連合が定める目標値を達成すべく高齢・障害者雇用が各国の国策に組み込まれ、その帰結として、先天的障害者ではなく、加齢によって障害認定を受けた高年齢従業員（高齢障害者）の雇用推進に傾斜していることが示された。これらの調査研究から、現状において諸外国で差別禁止法の理念や合理的配慮の考えが伝播・共鳴・浸透し、雇用を力強く推進する原動力になっているとは言い難いと推察する。

3) ヒアリング調査、文献調査、理論研究、文芸作品分析によって、a) 共に働き活動することによって、ステレオタイプからの脱却と認識の変容が起きている、b) 「労働」および「活動」の解釈の再編により、障害者が働くことの意味を再考し、また周囲への影響と意味付けにおける変化が生じ得る、c) 協働は「その人」がいることの意味を考える契機となっている、d) 就業選択における人々の心理・思考のプロセス（＝「すりかえ合意」が発動するプロセス）が、持続的雇用システム（人材の適切な配置と労働力均衡）の構築に影響を持つ、e) 支援の進展によって社会における障害の程度が軽度化している（＝医学モデルから社会モデルへの真の転換）f) 障害と健常の境界線にいる人々の就業は、当事者と周囲の者たちにとって社会的包摂への再挑戦となり得る、g) 障害を持つ競技者の企業への就職を、障害者雇用推進の契機づくりとする視点を持つ必要があることが見出された。

以上から、本研究が想定するように、実際に活躍する姿が示されることによって人々の意識は変化するのであり、それによって現実的な雇用の拡大と浸透が促されると考えられる。よって、人々の心理、思考、行動を見据えた雇用政策がこれからは必要とされている。今後の研究では、これらの調査分析と議論をさらに続け、各分野で見出された知見を統合していく段階に入っていく。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計179件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 29件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 2017年7月号
2. 論文標題 高齢者のさらなる雇用推進のための思考と実践：『すりかえ合意』による労働力均衡	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 労働調査	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 第28号
2. 論文標題 人口減少下における高齢従業員への雇用と就業	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本労働社会学会年報	6. 最初と最後の頁 60-82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 926号
2. 論文標題 『働き方改革』の意義と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 學士會會報	6. 最初と最後の頁 45 - 49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 14号
2. 論文標題 『同一労働同一賃金』の理論的基盤	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RESEARCH BUREAU論究	6. 最初と最後の頁 39-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 7号
2. 論文標題 共生の経験に対する認識の在り方についての一試論	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 敬愛大学総合地域研究	6. 最初と最後の頁 67 76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 -
2. 論文標題 差異に対する感受性と固定観念を学びほぐす姿勢について 共生の経験に対する認識論からの一接近	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 2017上廣倫理財団助成研究発表会要旨集	6. 最初と最後の頁 30-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 30
2. 論文標題 教育と保育について学びほぐす 『教育の基礎と展開 豊かな保育・教育のつながりをめざして』を読む	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵	4. 巻 19 (6)
2. 論文標題 障害者の貧困問題における高齢者の実態と居住支援の必要性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 83-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵	4. 巻 19 (13)
2. 論文標題 地域共生社会と障害者の就労：発達障害学生の就労支援から考える地域連携のあり方	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 128-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎本容子・清野絵・木口恵美子	4. 巻 10
2. 論文標題 大学キャリアセンターの発達障害学生に対する就労支援上の困り感とは？ 質問紙調査の自由記述及びインタビュー調査結果の分析から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 福祉社会開発研究	6. 最初と最後の頁 33-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎本容子・大蔵佐智子・清野絵・新堀和子・野牧宏治, (監修・編集協力) 榎本容子・清野絵	4. 巻 -
2. 論文標題 発達障害等の子 どもたちへの放課後等デイサービスにおけるキャリア教育プログラムの推進	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 WingPro	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seino K, Enomoto Y, Miyazawa S.	4. 巻 -
2. 論文標題 “ Narrative Analysis of Employment Support for Students with Developmental Disabilities: Using an Objective Analysis of Free-Expression Answers “	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IGI Global (USA)	6. 最初と最後の頁 341-357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 -
2. 論文標題 高齢者・障害者の就業と『すりかえ合意』のマネジメント	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018年度組織学会研究発表大会論集	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1179号
2. 論文標題 有期・無期契約労働者間の労働条件の相違の不合理性 ハマキョウレックス(差戻審)事件・長澤運輸事件最高裁判決を素材に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 労働判例	6. 最初と最後の頁 5-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1127
2. 論文標題 強行法規はなぜ必要か? 労働法における強行法規と自由意思(上)(下)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 107-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1128号
2. 論文標題 強行法規はなぜ必要か? 労働法における強行法規と自由意思(上)(下)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 999-999
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1131号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 19-26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1132号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 81-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1133号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 83-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1134号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 86-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1135号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 89-94
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1136号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 61-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1137号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 104-108
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1138号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 69-74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1139号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 74-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1140号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 81-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1141号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 74-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 穴戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1142号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから説き起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 67-73
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宍戸善一・大崎貞和・木下信行・中原裕彦・水町勇一郎・渡辺徹也	4. 巻 1143号
2. 論文標題 連載：企業の一生プロジェクト 具体的イメージから読み起こす企業法がインセンティブ・バーゲニングに与える影響（起業1）～（事業提携2）（続）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律」島田陽一ほか編『戦後労働立法史』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 旬報社	6. 最初と最後の頁 343-374
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 46号
2. 論文標題 日本型『同一労働同一賃金』には欧州にない先進的な特徴がある	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Work & Life 世界の労働	6. 最初と最後の頁 2-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 91巻2号
2. 論文標題 『働き方改革』の到達点と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 19-J-011
2. 論文標題 日本型『同一労働同一賃金』改革とは何か？ その特徴と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 篤裕	4. 巻 37(3)
2. 論文標題 生活保護を受給する老齢年金受給者：同居形態、資産、職歴	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 年金と経済	6. 最初と最後の頁 18-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 篤裕	4. 巻 10(3)
2. 論文標題 厚生年金保険適用拡大(2016年10月)による新たな賃金要件：既存の参照基準からの逸脱と低賃金雇用者の排除	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 社会政策	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岡 英氣	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 プロフェッショナル競技者の概念的考察：経済・技術・倫理の三見地から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 体育学研究	6. 最初と最後の頁 517-538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 -
2. 論文標題 言葉の固定観念を解きほぐす英語教育：大村はまの 人を育てる 言語教育思想からの一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 自律した学習者を育てる英語教育の探求（9）中央教育研究所	6. 最初と最後の頁 56-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野正道, 山口裕毅, 佐藤邦政, 藤本奈美, 仲田康一(翻訳分担)	4. 巻 -
2. 論文標題 第2章 教えることを学習から自由にする	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gert J. J. Biesta著『教えることの再発見』	6. 最初と最後の頁 35-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Kunimasa	4. 巻 -
2. 論文標題 “Fostering Curiosity with Caring Socratic Exemplars: Epistemic Care in Affective and Cognitive Environments.”	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rowman and Littlefield	6. 最初と最後の頁 311-322
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato, Kunimasa	4. 巻 Vol. 50
2. 論文標題 “Review Essay of Education’s Epistemology.”	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Metaphilosophy	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 Vol.4, No.1
2. 論文標題 差異の認識と認識の変容 障害者との共生に関する認識論的アプローチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 フィルカル	6. 最初と最後の頁 312-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino	4. 巻 -
2. 論文標題 Fundamental Study on the Development of Text Teaching Materials according to the Characteristics of Children (Persons) with Developmental Disabilities: Consideration of Information Presentation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 "The 8th Joint IEEE International Conference on Development and Learning and on Epigenetic Robotics Proceedings"	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 榎本容子・清野絵	4. 巻 1
2. 論文標題 高等教育機関における障害学生へのキャリア支援・就職支援の動向 - 発達障害学生を中心に -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 職業リハビリテーション、32	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino, Yoko Enomoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Issues for Persons with Disabilities in Japan to Achieve SDGs: Poverty, Employment, and Education using National Survey	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The 18th Science Council of Asia Conference Abstracts & Full Papers	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 清野絵・榎本容子・新堀和子	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 家庭と教育・福祉・労働の連携による 発達障害児の早期支援 - 放課後等デイサービス向けキャリア教育プログラムの開発 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 82-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・榎本容子	4. 巻 21
2. 論文標題 障害者就労支援に関する雇用・福祉・教育の施策動 向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋大学人間科学総合研究所紀要	6. 最初と最後の頁 167-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北村弥生、今橋久美子、清野絵、飛松好子、岩谷力、米田恵子	4. 巻 -
2. 論文標題 平成23年および平成28年「生活のしづらさなどに関する調査(厚生労働省)」における調査票の配布・回収状況の比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費障害者政策総合研究事業(身体・知的分野)分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 65-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 -
2. 論文標題 障害者雇用をめぐる企業側の意向と当事者の態度：事業所および個人 データを用いた定量分析による検討 学会報告論文	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会政策学会2019年度春季大会報告論集	6. 最初と最後の頁 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 Vol.38, No.2
2. 論文標題 高齢者雇用の現在と未来に関する試論：企業の人事管理および国際 比較の視点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 年金と経済	6. 最初と最後の頁 41-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 2019年秋号
2. 論文標題 高齢者の就業と政策的課題：綻びゆく雇用システム、失われゆく日本企業の強み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊 個人金融	6. 最初と最後の頁 23-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 -
2. 論文標題 Japan's 'Adjustment Approach' to Retirement Reform.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Active Aging Consortium Asia Pacific Research Bulletin	6. 最初と最後の頁 10-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 Vol. 29
2. 論文標題 Making Sense of Japan's Retirement Reform	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 An International Perspective, Kyushu University ISC Annual Research Bulletin.	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo, Masateru	4. 巻 Vol. 1, No. 18
2. 論文標題 Japan's Approach to Retirement Reform: An International Perspective.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Polish Social Gerontology Journal EXLIBRIS	6. 最初と最後の頁 94-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 265号
2. 論文標題 『働き方改革』の総括と今後に残された課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊労働法	6. 最初と最後の頁 104-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1530号
2. 論文標題 有期契約労働者(アルバイト職員)への賞与不支給の違法性 大阪医科薬科大学 (旧大阪医科大学) 事件	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 70巻5号
2. 論文標題 書評: 長谷川珠子著・障害者雇用と合理的配慮 日米の比較法研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 自由と正義	6. 最初と最後の頁 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1535号
2. 論文標題 労働協約により支払が猶予された賃金債権の放棄と弁済期 平尾事件	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1539号
2. 論文標題 長時間労働に従事させたことに対し疾患未発症でも損害賠償請求が認められた例 狩野ジャパン事件	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 758号
2. 論文標題 『同一労働同一賃金』改革のポイント	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊労委労協	6. 最初と最後の頁 14-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 48号
2. 論文標題 『同一労働同一賃金』改革の行方と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JP総研Research	6. 最初と最後の頁 2-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 『働き方改革』と自治体の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度地域活性化ガイドブック『自治体の働き方改革』（2020年1月、地域活性化センター）	6. 最初と最後の頁 6-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岡 英氣	4. 巻 No.95
2. 論文標題 障害者雇用に関する概念的考察：目的・技術・仕事・遊戯性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 敬愛大学研究論集	6. 最初と最後の頁 3-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yui,Ohtsu [共同著者：森田知宏（相馬中央病院）、安藤道人（立教大学）]	4. 巻 Vol.14, No.9
2. 論文標題 Mass evacuation and increases in long-term care benefits: Lessons from the Fukushima nuclear disaster.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLoS ONE	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津 唯 [共同著者：渡辺久里子（国立社会保障・人口問題研究所）]	4. 巻 Vol.4, No.3
2. 論文標題 剥奪指標による貧困の測定 「生活と支え合いに関する調査」（2017）を用いて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 275-286
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒木 宏子	4. 巻 Vol.61, No.7
2. 論文標題 置き換え効果の企業パネルデータ分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本労働研究雑誌	6. 最初と最後の頁 96-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒木 宏子	4. 巻 1
2. 論文標題 教育効果研究の定量分析 学会報告論文	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会政策学会2019年度秋季大会報告論集	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前鼻啓史・渡正・伊藤真紀・鈴木宏哉・渡邊貴裕	4. 巻 18(2)
2. 論文標題 英国イングランドにおける障害者スポーツ推進に関する包括的調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 発達障害支援システム学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵, 赤池美紀, 飛松好子	4. 巻 22(2)
2. 論文標題 身体障害者補助犬の使用者の障害の状態像および要件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 82-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 北村弥生、今橋久美子、清野絵、飛松好子、岩谷力、米田恵子	4. 巻 -
2. 論文標題 平成23年および平成28年「生活のしづらさなどに関する調査（厚生労働省）」における調査票の配布・回収状況の比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費障害者政策総合研究事業（身体・知的分野）分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 65-68
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵、榎本容子	4. 巻 21
2. 論文標題 障害者就労支援に関する雇用・福祉・教育の施策動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋大学人間科学総合研究所紀要	6. 最初と最後の頁 167-187
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵、榎本容子、新堀和子	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 家庭と教育・福祉・労働の連携による発達障害児の早期支援－放課後等デイサービス向けキャリア教育プログラムの開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 82-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino, Yuichiro Haruna, Shun Ishizaki	4. 巻 -
2. 論文標題 The Employment Status and Support Needs of Persons with Disabilities in Japan: Analysis and Generation of Narrative Using a Narratology and Text Mining, Ogata T, Arakawa S, Eds, "Post-Narratology Through Computational and Cognitive Approaches"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IGI Global(USA)	6. 最初と最後の頁 397-429
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 清野絵・丸山晃	4. 巻 -
2. 論文標題 就労継続支援B型サービス提供者におけるICT活用の実態と可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 精神障害、知的障害、身体障害の障害種別の比較	6. 最初と最後の頁 37-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 -
2. 論文標題 What's Next to a 'Hyper-Aged' Society? -The Coming of a 'Death-Laden' Society and Its Implications to Future Healthcare.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Active Aging Consortium Asia Pacific Research Bulletin.	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 Vol. 30.
2. 論文標題 Aging Workforce in Thailand and Vietnam	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Policy Lessons from Japan, Kyushu University ISC Annual Research Bulletin	6. 最初と最後の頁 12-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 No.18
2. 論文標題 Japan's Approach to Retirement Reform: An International Perspective.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Polish Social Gerontology Journal EXLIBRIS Vol. 1	6. 最初と最後の頁 94-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 強行法規はなぜ必要か？ 労働法における強行法規と自由意思	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 労働法理論の探究	6. 最初と最後の頁 89-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 『働き方改革』の到達点とこれからの労働法の可能性	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 労働法制の改革と展望 (日本評論社)	6. 最初と最後の頁 343-367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 111号
2. 論文標題 リーマン危機、コロナ危機とフリーランス - フリーランスの安全網の 課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1264号
2. 論文標題 コロナ危機と労働法	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中央労働時報	6. 最初と最後の頁 16-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 no.263
2. 論文標題 懲戒	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 別冊法学セミナー『新基本法コンメンタール〔第2版〕労働基準法・労働契約法』（日本評論社）	6. 最初と最後の頁 417-421
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 92巻12号
2. 論文標題 21世紀の危機と社会法 コロナ危機が明らかにした社会法の課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 62-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1228号
2. 論文標題 不合理性をどう判断するか？ 大阪医科薬科大学事件・メトロコマース事件・日本郵便（東京・大阪・佐賀）事件最高裁5判決解説	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 労働判例	6. 最初と最後の頁 5-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1270号
2. 論文標題 日本的雇用の迷宮 正規・非正規格差最高裁五判決と労使関係	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中央労働時報	6. 最初と最後の頁 4-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1543号
2. 論文標題 被用者から使用者への逆求償の可否 福山通運事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1548号
2. 論文標題 65歳定年制における定年延長拒否の違法性の判断 同志社事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1548号
2. 論文標題 契約更新限度に基づく無期転換権発生直前の雇止めの違法性 博報 堂事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1552号
2. 論文標題 有期契約労働者への賞与・退職金の不支給と『正社員人材確保』論 大阪医科薬科大学事件 / メトロコマース事件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町勇一郎	4. 巻 Vol.12
2. 論文標題 『働き方改革』の意義と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 HR EXECUTIVE	6. 最初と最後の頁 32-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 今野浩一郎・水町勇一郎・松浦民恵・大野実	4. 巻 56巻10号
2. 論文標題 コロナ禍で働き方改革をどう進めていくか 社労士に期待される役割、使命とは	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊社労士	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町勇一郎	4. 巻 1185号
2. 論文標題 『ひと』主体の価値創造社会と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NBL	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町勇一郎	4. 巻 898号
2. 論文標題 水町教授が判例から読み解くこれからの同一労働同一賃金	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ビジネスガイド	6. 最初と最後の頁 90-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町勇一郎	4. 巻 61号
2. 論文標題 日本版『同一労働同一賃金』の今とこれから	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SR	6. 最初と最後の頁 6-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津 唯 [共同著者：百瀬優 (流通経済大学)]	4. 巻 Vol.12, No.2
2. 論文標題 障害年金受給者の生活実態と就労状況	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会政策	6. 最初と最後の頁 74-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荒木 宏子	4. 巻 Vol.12, No.1
2. 論文標題 教育効果研究の定量分析 (特集 社会的投資戦略と教育)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 社会政策	6. 最初と最後の頁 27-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hi roko, araki	4. 巻 Vol.5, No.29
2. 論文標題 Panel Data Analysis of the Generational Replacement Effect on Employment in Japanese Companies,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan Labor Issues	6. 最初と最後の頁 37-52.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 渡 正	4. 巻 第21巻
2. 論文標題 スポーツにおける身体の範囲	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 文化人類学研究	6. 最初と最後の頁 37-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡 正・石井十郎・渡正・川邊保孝・朝倉雅史	4. 巻 7
2. 論文標題 障がい者スポーツ推進のための体育施設運営のあり方に関する研究：体育施設運営者の視点から見た障害者の施設利用における現状と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東海大学経営学部紀要	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Seino K, Nomoto A, Takezawa T, Heike	4. 巻 -
2. 論文標題 The Diversity Management for Employment of the Persons with Disabilities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Evidence of Vocational Rehabilitation in the United States and Japan. Research Anthology on Rehabilitation Practices and Therapy	6. 最初と最後の頁 1445-1468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Seino K, Ishizaki S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Extension of Clinical/Psychological Approach Using Post Narratology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Proposal of a Psychological Narratology and Review for Systematization . Bridging the Gap between AI, Cognitive Science, and Narratology with Narrative Generation, IGI Global	6. 最初と最後の頁 43 - 62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Seino K	4. 巻 -
2. 論文標題 Extension of Clinical/Psychological Approach Using Post-Narratology	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Possibility of application on Artificial Intelligence and Robot. Proceedings of THE 2021 International Conference on Artificial Life and Robotics 26th AROB International Meeting Series	6. 最初と最後の頁 205-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 清野絵・小川浩	4. 巻 42(1)
2. 論文標題 発達障害者の入職・職場定着支援 - ジョブコーチ支援、カスタマイズ就業を中心に -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達障害研究	6. 最初と最後の頁 37-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵	4. 巻 34 (2)
2. 論文標題 テレワーク、遠隔支援とICT・支援機器 ~ 新型コロナウイルスを契機として ~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 職業リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵	4. 巻 34 (2)
2. 論文標題 職業リハビリテーションとICT・支援機器 ~ コロナの影響および支援技術の現状と実態 ~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 職業リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 24-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・赤池美紀・飛松好子	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬の使用者の状態像および要件	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 19-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・北村弥生・今橋久美子・飛松好子・岩谷力	4. 巻 -
2. 論文標題 「平成23年生活のしづらさなどに関する調査」から見た障害者のニーズ：テキストマイニングによる知的障害、発達障害、高次脳機能障害の診断があった者の自由記述回答の分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費「障害認定基準および障害福祉データの今後のあり方に関する研究」総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 122-129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・水越美奈・山本真理子・清野絵	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）総括研究報告書	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・岩谷力・伊藤利之・江藤文夫・森尾友宏・上村鋼平・西村理明・川村智行・北住映二・有賀道生・西牧謙吾・北村弥生・今橋久美子・清野絵・高橋秀人・三村将・寺島彰・金兼弘和・竹島正	4. 巻 -
2. 論文標題 障害認定基準および障害福祉データの今後のあり方に関する研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 令和元年度厚生労働行政推進調査事業費「障害認定基準および障害福祉データの今後のあり方に関する研究」総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 壁谷 彰慶	4. 巻 22号
2. 論文標題 自由意志論における「選択の自由」を精査する(1) < 起点性と自律性 > および < 源泉問題と余地問題 >	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 植草学園短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 51-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤 英俊	4. 巻 第22巻第13号
2. 論文標題 小学校におけるインクルーシブな学級文化づくりに関する研究 オーストラリア・クイーンズランド州の教育実践を手がかりに	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤 英俊	4. 巻 第23巻第3号
2. 論文標題 小学校におけるインクルーシブな学級文化づくりに関する研究 台湾・台北都市圏の教育実践を手がかりに	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤 英俊	4. 巻 第65巻第2号
2. 論文標題 インクルーシブな地域づくりへのささやかな挑戦 都留文科大学『クロボ』の取り組みから	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊 社会教育	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 -
2. 論文標題 高齢者雇用政策における国の選択：方針、戦略、哲学の滲出	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本労働社会学会 第33回大会報告論集	6. 最初と最後の頁 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 -
2. 論文標題 A 'death-laden' society: The next stage of a hyper-aged Japan and health challenges ahead	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Aging and Health Research.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 -
2. 論文標題 Japan's Death-Laden Society: Five Areas of Prospective Policy Challenges	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Population Studies.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo,Masateru	4. 巻 -
2. 論文標題 Japan's Approach to Retirement Reform: An International Perspective	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Polish Social Gerontology Journal EXLIBRIS	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 水町 勇一郎 [岩村正彦・大村敦志・齋藤哲志編]	4. 巻 -
2. 論文標題 「労働法 『プラットフォーム』型就業と『労働契約』概念の変容」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代フランス法の論点	6. 最初と最後の頁 311-336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1556号
2. 論文標題 能力・経験を活かさない業務への配転命令の権利濫用性 安藤運輸事件	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1561号
2. 論文標題 団交応諾命令と労働委員会の裁量 山形県・県労委 (国立大学法人山形大学) 事件	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1565号
2. 論文標題 アイドルの活動参加への『諾否の自由』と『労働者』性 Hプロジェクト事件	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 第10版
2. 論文標題 時間外労働手当 国際自動車事件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 別冊ジュリスト労働判例百選	6. 最初と最後の頁 82-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 21世紀の危機と社会法 コロナ危機が明らかにした社会法の課題』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 法律時報増刊『新型コロナウイルスと法学』日本評論社	6. 最初と最後の頁 65-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1567号
2. 論文標題 業務委託契約による英会話講師の労働者性 NOVA事件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 127-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 1569号
2. 論文標題 私傷病休職からの復職のために求められる職務遂行能力 シャープNECディスプレイソリューションズ事件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ジュリスト	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ymada, Atsuhiko	4. 巻 202
2. 論文標題 "Aging and Wages of Long-term Care Workers: A Case Study of Japan, 2002-2017," (joint with Kayoko Ishii)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Economic Analysis	6. 最初と最後の頁 71-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山田 篤裕	4. 巻 40
2. 論文標題 受給資格期間短縮が低所得高齢者に与えた影響	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本年金学会誌	6. 最初と最後の頁 4~14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24720/nenkingakkaishi.40.0_4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津 唯	4. 巻 -
2. 論文標題 「大津唯国際指標で見た日本の居住水準 低所得者への居住保障の脆弱性」田辺国昭・岡田徹太郎・泉田信行監修 国立社会保障・人口問題研究所編『日本の居住保障 定量分析と国際比較から考える』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 慶應義塾大学出版会	6. 最初と最後の頁 87-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大津 唯・渡辺 久里子	4. 巻 57-63
2. 論文標題 剥奪指標からみる貧困と健康	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 精神科	6. 最初と最後の頁 39(1)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ibuka, Yoko and Yui Ohtsu	4. 巻 16
2. 論文標題 Socioeconomic status and the likelihood of informal care provision in Japan:An analysis considering survival probability of care recipients.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLos ONE	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岡 英氣	4. 巻 No.52
2. 論文標題 「日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会浅田学術奨励賞・受賞記念講演報告：プロフェッショナル競技者の概念的考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 体育哲学年報	6. 最初と最後の頁 53-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高岡 英氣 [共著者：水野哲也、水野陽介、谷木龍男、野和志、稲垣和希、栗原美紀、和田拓真、吉武誠司、戸ヶ里泰典]	4. 巻 No.52
2. 論文標題 東京医科歯科大学学生のフィットネスに関する研究：ここ10年間の健康に関連する心身のフィットネスの推移	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東京医科歯科大学教養部研究紀要	6. 最初と最後の頁 51-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 邦政	4. 巻 6巻, 2号,
2. 論文標題 「人間形成と人間構築をともに視野に入れる知的徳の保育・教育論：解放的徳と認識的不正義を両輪とする展望	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 フィルカル	6. 最初と最後の頁 112-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato, Kunimasa	4. 巻 -
2. 論文標題 Good Learning and Epistemic Transformation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Individual and Social Epistemology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/epi.2021.15	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 渡 正	4. 巻 16
2. 論文標題 障害者スポーツにおける障害の非障害化の社会学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現象と秩序	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中丸信吾・渡邊貴裕・渡正・尾高邦生	4. 巻 25
2. 論文標題 教師からみた知的障害のある生徒における自然体験活動を取り入れた生活単元学習の学びのプロセス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 野外教育研究	6. 最初と最後の頁 99-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino Shun Ishizaki	4. 巻 2(3)
2. 論文標題 A literature review of psychological narratology in the clinical domain: Artificial intelligence and robots to assist individuals with disabilities.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Advances in Artificial Life Robotics	6. 最初と最後の頁 332-344
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kai Seino Kumiko Imahashi Yoshiko Tobimatsu	4. 巻 -
2. 論文標題 Solving Problems Related to COVID-19 Faced by Persons with Disabilities in Japan. Helping children with disabilities during a pandemic global crisis: Learning from countries around the world	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 AAPC Publishing	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 清野絵	4. 巻 43(3)
2. 論文標題 新型コロナウイルス感染症と知的障害、発達障害：福祉分野における影響と課題、必要な取組み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 発達障害研究	6. 最初と最後の頁 278-289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・榎本容子	4. 巻 23
2. 論文標題 大学における発達障害学生の就労支援の現状と課題：2019の実態をふまえて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地域ケアリング.	6. 最初と最後の頁 90-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・榎本容子	4. 巻 24
2. 論文標題 大学における発達障害学生の就労支援の現状と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 79-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・飛松好子	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬を使用する障害者の需要推計方法の検討と試算・厚生労働行政推進調査事業費補助金 障害者政策総合研究事業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 令和2年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 30-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・北村弥生・今橋久美子・飛松好子・岩谷力	4. 巻 -
2. 論文標題 障害者のスポーツ実施の実態および手帳種別、等級、性別、年代との関連：「生活のしづらさなどに関する調査」のプレ調査における項目の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費（障害者 3 政策総合研究事業）令和2年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 114-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・水越美奈・山本真理子・清野絵・小澤温	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）令和2年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・水越美奈・山本真理子・清野絵・小澤温・中川純	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）平成31年度～令和2年度総合研究報告書	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷力・今橋久美子・北村弥生・清野絵・飛松好子・外里富佐江・北澤一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 次期全国在宅障害児・者等実態調査の検討のためのプレ調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）令和2年度総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 16-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・岩谷力・伊藤利之・江藤文夫・森尾友宏・北村弥生・今橋久美子・清野絵・寺島彰・金兼弘 和・上村鋼平	4. 巻 -
2. 論文標題 現状の障害認定基準の課題の整理ならびに次期全国在宅障害児・者等実態調査の検討のための調査研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）令和2年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・今橋久美子・清野絵・緒方徹・樋口幸治	4. 巻 -
2. 論文標題 障害福祉専門職からみた障害者の受診時の困難に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）令和2年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤 英俊	4. 巻 第24巻第4号
2. 論文標題 小学校におけるインクルーシブな学級文化づくりに関する研究日本・山梨の教育実践を手がかりに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 43-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 堤 英俊	4. 巻 第95集
2. 論文標題 知的障害グレーゾーンの若者のキャリアと障害者雇用 - ライフストーリーに着目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都留文科大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 119-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 朋代	4. 巻 12月号
2. 論文標題 70歳までの雇用・就業に向けて 企業の人事管理に求められる視点	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 企業年金	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Higo, M.	4. 巻 2
2. 論文標題 A "death-laden society": The next stage of a hyper-aged Japan and health challenges ahead.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Aging and Health Research	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ahr.2022.100110	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Higo, M.	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Japan's death-laden society: Five areas of prospective policy challenges.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Population Studies	6. 最初と最後の頁 15-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.36922/ijps.v8i2.301	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Winarnita, M., Higo, M., Klassen, T.R., & Blackberry, I	4. 巻 43(1)
2. 論文標題 Asian female migrant aged care workers in regional Australia and social resilience.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Review of Regional Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10037-022-00175-0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 280号
2. 論文標題 脳・心臓疾患等の労災認定基準と『労働時間』概念	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊労働法	6. 最初と最後の頁 121-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 現代労働法の新たな理論動向と日本	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『働く社会の変容と生活保障の法』旬報社	6. 最初と最後の頁 37-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 94巻12号
2. 論文標題 日本の『働き方改革』 『司法化』の観点から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 法律時報	6. 最初と最後の頁 63-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 巻 -
2. 論文標題 労働法 『プラットフォーム』型就業と『労働契約』概念の変容	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『現代フランス法の論点』（東京大学出版会）	6. 最初と最後の頁 311-336
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 篤裕・荒木 宏子	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 精神障害者雇用の急速な進展と賃金構造の変化：Blinder-Oaxaca 分解に基づく検証	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 医療経済研究	6. 最初と最後の頁 68-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 篤裕	4. 巻 7(1)
2. 論文標題 老齢年金受給者の貧困リスクと公的年金の『部分繰下げ』受給の可能性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会保障研究	6. 最初と最後の頁 39-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yui Ohtsu	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Synergistic Effect of Motivation for the Elderly and Support for Going out.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Personalized Medicine	6. 最初と最後の頁 1257
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/jpm12081257	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山根承子・荒木宏子・野田隆	4. 巻 第29巻
2. 論文標題 性格特性と投資スタイル～Big Fiveによる測定～	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 郵貯資産研究	6. 最初と最後の頁 51～89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中丸慎吾，渡邊貴裕，渡正，尾高邦生	4. 巻 26
2. 論文標題 特別支援学校における自然体験活動の実態調査 2019年度の実施状況	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 キャンプ研究	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡 正	4. 巻 7
2. 論文標題 障害者スポーツを考える：道具・環境の相互作用とデザインの視点 -特集 ゲーム・チェンジャーとしての社会学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新社会学研究	6. 最初と最後の頁 44-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 植田俊，山崎貴史，渡 正	4. 巻 30(2)
2. 論文標題 障害者スポーツにおけるつながりの生成 - 視覚障害者ランナーと伴走者を事例として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 スポーツ社会学研究	6. 最初と最後の頁 65-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡 正	4. 巻 16
2. 論文標題 障害者スポーツにおける障害の非障害化の社会学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現象と秩序	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino	4. 巻 -
2. 論文標題 Perspective Chapter: Vocational rehabilitation, information, communication technology, and assistive technology devices for employment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 New Trends in Assistive Technologies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵	4. 巻 Vol.51 No.3
2. 論文標題 職業リハビリテーション	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 総合リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai Seino	4. 巻 33
2. 論文標題 International Comparison of the Systems and Realities of Employment of People with Disabilities in Seven Countries: Effects and relations of quota employment system and anti-discrimination system	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 CSRDA Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Makoto Wada, Katuya Hayashi, Kai Seino, et al.	4. 巻 14
2. 論文標題 Qualitative and quantitative analysis of self-reported sensory issues in individuals with neurodevelopmental disorders	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2023.1077542	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 金子毅司・三田地昭典・清野絵ら	4. 巻 -
2. 論文標題 ジョブコーチの知識及びスキルの明確化に関する研究 職場適応援助者養成研修受講者へのインタビュー調査を通じて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 共生社会文化研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田地昭典・金子毅司・清野絵ら	4. 巻 -
2. 論文標題 ジョブコーチの知識及びスキルの明確化に関する研究 職場適応援助者養成研修修了者へのアンケート調査を通じて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 共生社会文化研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・小澤温・山本真理子・飛松好子・石川浩太郎・大塚栄子・菊地尚久・佐々木貴代・高柳友子・田中雅之・千葉俊之・中澤若菜・永田夏代・渡邊学	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬使用希望者の訓練の効果測定のための研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費補助金障害者政策総合研究事業身体障害者補助犬使用希望者の訓練の効果測定のための研究令和3年度総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野絵・飛松好子・石川浩太郎・菊地尚久・田中雅之・渡邊学	4. 巻 -
2. 論文標題 身体障害者補助犬の使用を希望する障害者への情報提供に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 厚生労働行政推進調査事業費補助金障害者政策総合研究事業身体障害者補助犬使用希望者の訓練の効果測定のための研究令和3年度総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 8-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飛松好子・富安幸志・樋口幸治・清野絵・今橋久美子	4. 巻 -
2. 論文標題 障害者の医療機関利用にあたっての課題と好事例の収集に関する調査研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業障害のあるがん患者のニーズに基づいた情報普及と医療者向け研修プログラムの開発に関する研究. 令和3年度総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 13-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 八巻知香子・石川准・河村宏・甲斐更紗・今橋久美子・清野絵・原田敦史	4. 巻 -
2. 論文標題 視覚障害者の対応についての医療機関向けパンフレットの活用と評価に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業障害のあるがん患者のニーズに基づいた情報普及と医療者向け研修プログラムの開発に関する研究令和3年度総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 21-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵	4. 巻 -
2. 論文標題 発達障害・精神障害の障害特性とテレワークの適性に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 令和3年度厚生労働省科学研究費補助金 障害者政策総合研究研究事業 就労系障害福祉サービス事業所におけるテレワークによる就労の推進のための研究 令和3年度 総括・分担研究報告書	6. 最初と最後の頁 52-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清野 絵	4. 巻 -
2. 論文標題 3. 障害児・者のキャリア教育・就労支援における自己理解について 2) 就労段階(障害者福祉分野)について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障害のある児童生徒のキャリア教育に関わる教員の専門性に関する研究 令和3年度活動報告書 1年目, 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 壁谷 彰慶	4. 巻 122-259 (SITE2022-37)
2. 論文標題 忘れられる権利の不自然さ・難解さ・実行可能性 メグ・レタ・ジョーンズ『Ctrl+Z 忘れられる権利』から考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 信学技報, 電子情報通信学会	6. 最初と最後の頁 20-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大谷卓史, 大澤博隆, 壁谷彰慶, 川口嘉奈子, 川口由起子, 神崎宣次, 久木田水生, 杉本俊介	4. 巻 3月号
2. 論文標題 良い倫理的意意思決定のための倫理綱領 研究・イノベーションと倫理	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 電通会誌106-3	6. 最初と最後の頁 310-324
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計174件(うち招待講演 13件/うち国際学会 52件)

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 (セッション司会)
3. 学会等名 組織学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 (セッション司会、コメンテーター)
3. 学会等名 日本労務学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 再任用職員の本格活用に向けた課題と対策 (於 香川県庁)
3. 学会等名 総務省「人材育成等専門家派遣事業」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 再任用職員の本格活用に向けた課題と対策 (於 新潟県庁)
3. 学会等名 総務省「人材育成等専門家派遣事業」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Higo,masateru
2. 発表標題 The Third International Annual Symposium on Ageing and Old Age in Asia-Pacific
3. 学会等名 La Trobe University, Australia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Higo,masateru
2. 発表標題 国際学会における研究発表
3. 学会等名 American Sociological Association 2017 Annual Meeting (Montreal) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Higo,masateru
2. 発表標題 国際シンポジウムにおける基調講演 (National University of Singapore, Singapore)
3. 学会等名 Trends and Determinants of Retirement and Related Policies in Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Higo,masateru
2. 発表標題 国際シンポジウムにおける基調講演 (University of Malaya, Malaysia)
3. 学会等名 The Future of Aging Malaysia and ASEAN (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西脇 暢子
2. 発表標題 “Frontiers of organizational behavior research” (討論者・コメンテーター)
3. 学会等名 日本経営学会関東部会6月例会シンポジウム (早稲田大学)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 障害者スポーツに関する一考察：障害者雇用問題を手掛かりとして
3. 学会等名 日本体育学会体育哲学専門領域 夏期合宿研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 探求における自律性について 自律性、ヴァルネラビリティ、持続的知的関心
3. 学会等名 応用哲学会（第9回）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 Understanding-first critical thinking conception and the epistemic diversity of a community,
3. 学会等名 The 1st Conference on Philosophy of Education in Taiwan, National Chi Nan University (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 『子どもの哲学と理性的思考者の教育 知的徳の教育の観点から』
3. 学会等名 土屋陽介氏博士論文検討会，千葉大学西千葉キャンパス文学部棟2階24演習室（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 榎宏朗・清野絵・眞鍋克博・益川順子・片平冽彦
2. 発表標題 C型肝炎感染被害者が直面するカルテ等の投 薬証明を得る上での困難の実態
3. 学会等名 第58回日本社会医学会総会（於 北海道医療大学）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高齢者・障害者の就業と『すりかえ合意』のマネジメント（研究報告・セッション司会）
3. 学会等名 組織学会（於 東京大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高齢者雇用の真相（シンポジウム報告・パネリスト）
3. 学会等名 前川ヒトづくり財団シンポジウム（於 前川製作所 共創ホール）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高齢者の雇用促進と円滑な引退のマネジメント：政府の役割、求められる視点
3. 学会等名 厚生労働省「高齢者対策担当官全国会議」 職業安定局による都道府県労働局全国会議での講演
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 『すごい論文』と『評価プロセス』の間にあるパラドックスを 越える：組織科学へいかに掲載するか
3. 学会等名 組織学会（於 小樽商科大学） 「組織科学SEセッション」報告
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 産業社会における共生のメカニズム：高年齢者・障害者雇用 研究からの探索
3. 学会等名 慶應義塾大学HRM研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 再任用職員の本格活用に向けた課題と対策 地方公務員の人事問題に関する助言と講演
3. 学会等名 総務省「人材育成等専門家派遣事業」（於 神奈川県 神奈川近代文学館ホール）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 「高年齢者雇用の真相」 「生涯現役社会の実現を考える」（シンポジウム報告・パネリスト）
3. 学会等名 前川ヒトづくり財団シンポジウム（於 ひろしま産業振興機構 広島県情報プラザ）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 篤裕
2. 発表標題 所得保障政策上の『賃金』と給付水準：厚生年金保険適用拡大（2016年10月）を例に
3. 学会等名 社会政策学会第136回春季大会・共通論題報告
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 篤裕
2. 発表標題 高齢者の就業の妨げをなくす社会政策
3. 学会等名 東京財団第2回BBLセミナー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 " Social Epistemology and Critical thinking, " Epistemology of Education Session
3. 学会等名 World Philosophy Congress, Peking University. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 ステレオタイプの認知と中性化
3. 学会等名 行為論研究会, 東京大学本郷キャンパス, 国際学会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 “ Why Is Questioning Learning?: Epistemic and Educational Values of Questioning, ”
3. 学会等名 2019 ALPE winter seminar, Chiayi University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 “ What is Good Learning: A Social-Virtue Epistemological Approach, ”
3. 学会等名 World Philosophy Congress, Peking University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 “ The Goal of Questioning, Epistemic Injustice, and Hermeneutical Understanding, ”
3. 学会等名 European Epistemology Conference, Vrije Universiteit Amsterdam (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Watari, Tadashi
2. 発表標題 How did the Paralympic Games be imagined in Japan? — From discourse analysis focusing on media coverage.
3. 学会等名 23rd annual Congress of the European College of the Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 障害者アスリートの雇用の論理とその問題
3. 学会等名 日本体育学会第69回大会アダプテッド・スポーツ専門領域口頭発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 障害者アスリートの雇用における企業の論理とその課題（口頭発表）
3. 学会等名 日本体育スポーツ政策学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡 正・前鼻啓史・鈴木宏哉・渡邊貴裕
2. 発表標題 パラリンピック教育概念の再検討
3. 学会等名 日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第23回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清野 絵・榎本容子
2. 発表標題 発達障害のある学生の円滑な就労移行に向けた『大学と職業リハビリテーション機関の連携』の在り方
3. 学会等名 第46回日本職業リハビリテーション学会（於 北海道 北星学園大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清野 絵・榎本容子
2. 発表標題 大学における障害学生へのキャリア支援：精神障害を中心に
3. 学会等名 第46回日本職業リハビリテーション学会（於 北海道 北星学園大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清野 絵・榎本容子
2. 発表標題 障害学生のキャリア支援に関する雇用・福祉・教育 の関連施策の動向
3. 学会等名 第26回職業リハビリテーション研究・実践発表会（於 東京都 東京ビックサイト）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清野 絵
2. 発表標題 家庭と教育・福祉・労働との連携の重要性と今後求められる取組自主シンポジウム「家庭と教育・福祉・就労の連携によるキャリア教育」
3. 学会等名 日本LD学会 第27回大会（於 新潟県 朱鷺メッセ）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 清野絵・小野栄一
2. 発表標題 障害者の衣服における機能と好みに関する課題と ニーズ
3. 学会等名 第35回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会（於 埼玉県国立障害者リハビリテーションセンター）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 北村弥生、今橋久美子、清野絵、岩谷力、飛松好子
2. 発表標題 28年生活のしづらさなどに関する調査（厚労省）における調査項目修正の効果
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学会第20回大会（於 愛知県 藤田医科大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morishima, Motohiro
2. 発表標題 Presented at the 18th International Labour and Employment Relations Association
3. 学会等名 Changes in Japanese HRM : Emergence of a New System? (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 篤裕
2. 発表標題 雇用障害者の賃金決定要因：企業規模、障害者数、障害程度
3. 学会等名 社会政策学会第138回春季大会・テーマ別分科会・第1（高知大学）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高木 朋代[共同報告者：佐藤邦政（敬愛大学）、高岡英氣（敬愛大学）、渡正（順天堂大学）、清野絵（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）]
2. 発表標題 障害者雇用における雇用機会の分配と労働力均衡 大会ワークショップ「産業社会における共生のメカニズム：障害者の雇用と『働く』ことの意味」研究報告と総括
3. 学会等名 応用哲学会（於 京都大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 朋代 [共同報告者：山田篤裕（慶應義塾大学）、大津唯（埼玉大学）、荒木宏子（慶應義塾大学）]
2. 発表標題 障害者雇用をめぐる企業側の意向と当事者の態度：事業所 および個人データを用いた定量分析による検討 テーマ別分科会「我が国の障害者雇用政策における効果と課題：2つの調査データを用いた雇用・就業の実態分析」（コーディネーター・座長・研究報告）
3. 学会等名 社会政策学会（於 高知県立大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 （セッション司会）
3. 学会等名 組織学会（於 駒澤大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高年齢職員の活躍 地方公務員の人事問題に関する助言と講演
3. 学会等名 総務省「人材育成等専門家派遣事業」（於 山梨県庁）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 地域における高年齢者の就業と生涯現役促進地域連携事業に期待される役割」 職業安定局によるシンポジウムでの基調講演
3. 学会等名 厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業情報交換会」（於 厚生労働省）
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 The Second Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2019 International Conference (Online) ,Presenter
3 . 学会等名 The Second Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 The Fourth Annual International Symposium on Aging & Old Age in Asia-Pacific International Conference (Online) Organizer, Moderator and Presenter
3 . 学会等名 Co-organized by Kate O'Loughlin (University of Sydney, Australia) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 The Fourth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2019 International Conference (Online) ,Presenter
3 . 学会等名 The Fourth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 Medicine and Health International Conference (Online),Presenter
3 . 学会等名 Seoul National University- Kyushu University Joint Symposium, Satellite Session 1 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Special International Seminar: Research Design and Data Analysis for Gerontological Studies International Workshop (Online)
3. 学会等名 Organizer and Presenter Co-organized by Thomas R. Klassen (York University, Canada; Irene D. Blackberry (La Trobe University, Australia); and Nopraenu Dhirathiti (Mahidol University, Thailand) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Ageing in a Post COVID-19 Era: Current Situations & Future Prospects International Symposium (Online)
3. 学会等名 Organizer and Moderator Co-organized by Thomas R. Klassen (York University, Canada; Irene D. Blackberry (La Trobe University, Australia); and Kate O'Loughlin (University of Sydney, Australia) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 企業による障害者雇用の実態 「障害者雇用実態調査」の分析から
3. 学会等名 社会政策学会第138回(2019年度春季)大会(於 高知県立大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大津 唯 [共同報告者: 百瀬優(流通経済大学)]
2. 発表標題 障害年金受給者の生活実態と就労状況
3. 学会等名 社会政策学会第138回(2019年度春季)大会(於 高知県立大学)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒木 宏子
2. 発表標題 精神障害者の手帳取得及び就業についての現状とその要因に係る定量分析 テーマ別分科会「我が国の障害者雇用政策における効果と課題：2つの調査データを用いた雇用・就業の実態分析」研究報告
3. 学会等名 社会政策学会（於 高知県立大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒木 宏子
2. 発表標題 教育効果研究の定量分析 共通論題「社会的投資戦略と 教育」第二報告
3. 学会等名 社会政策学会（於 法政大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高岡 英氣 【共同報告者：高木朋代（敬愛大学）、佐藤邦政（敬愛大学）、渡正（順天堂大学）、清野絵（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）】
2. 発表標題 産業社会における共生のメカニズム：障害者の雇用と『働く』ことの意味
3. 学会等名 応用哲学会（於 京都大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清野絵，赤池美紀，飛松好子
2. 発表標題 既使用者の状態像から見た身体障害者補助犬の適応となる障害：日本語文献レビュー
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵、北村弥生、今橋久美子、飛松好子
2. 発表標題 平成23年生活のしづらさなどに関する調査の自由記述回答の分析：発達障害者のニーズ
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学学会第21回大会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵・榎本容子
2. 発表標題 大学における発達障害のある学生の就労支援の実態：アンケート調査の結果から
3. 学会等名 第27回職業リハビリテーション研究・実践発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清野絵、榎本容子、石渡利奈、他
2. 発表標題 全国調査に基づく発達障害のある学生の就労支援教材の開発～保護者、支援者、機関との連携による協働開発
3. 学会等名 国立障害者リハビリテーションセンター第36回業績発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清野絵
2. 発表標題 発達障害のある学生の就労支援：支援者の困りごととその解決に向けて
3. 学会等名 愛知みずほ短期大学 FD・SD研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清野絵
2. 発表標題 発達障害のある人のキャリア意思決定支援のヒント
3. 学会等名 名古屋大学 学生支援センター 障害学生就労支援者研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 米田恵子、清野絵
2. 発表標題 自閉症スペクトラム障害の心の理論の改善を目的とした介入に関する文献検討
3. 学会等名 第60回日本児童青年精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 和田真、清野絵、林克也、西山秀樹、西牧謙吾
2. 発表標題 発達障害者の「困ったとき、どうする集：感覚編」作成に向けた取り組み
3. 学会等名 国立障害者リハビリテーションセンター 第36回業績発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 International Conference (Online) Presenter
3. 学会等名 The Fifth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 The 12th International Conference on Social Science & Humanity (ICSSH 2020) (Organizer, Moderator and Presenter)
3. 学会等名 The 12th International Conference on Social Science & Humanity (ICSSH 2020) International Conference (Online) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 The Fourth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2020 (International Conference (Online) (Presenter)
3. 学会等名 The Fourth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 Medicine and Health International Conference (Online) (Session Organizer, Discussant and Presenter)
3. 学会等名 Seoul National University (Asia Week 2020); Kyushu University Joint Symposium, Satellite Session 2 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 The Sixth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2020(International Conference (Online) (Presenter)
3. 学会等名 The Sixth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 The Seventh Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2021 International Conference (Online) Session (Organizer and Presenter)
3. 学会等名 The Seventh Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Meeting 2021 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2021 (Organizer, Moderator, Discussant, and Presenter)
3. 学会等名 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2021 International Symposium (Online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯 [共同発表者: 井深陽子 (慶応義塾大学)]
2. 発表標題 Socioeconomic status and informal care provision in Japan
3. 学会等名 日本経済学会 (於 立正大学 (web開催)) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 国民年金保険料の収納率の変動要因に関する分析
3. 学会等名 社会政策学会第141回 (2020年度秋期) 大会 (於web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ohtsu Yui [co-presenter : Ibuka,Yoko]
2. 発表標題 Socioeconomic Status and Long-Term Care Provision to Parents in Japan.
3. 学会等名 The Geological Society of America 2020 Annual Meeting, online (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 国民年金保険料の収納率の変動要因に関する分析
3. 学会等名 社会政策学会第141回(2020年度秋期)大会(於 web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ohtsu Yui [co-presenter : Ibuka,Yoko]
2. 発表標題 Socioeconomic Status and Long-Term Care Provision to Parents in Japan.
3. 学会等名 The Geological Society of America 2020 Annual Meeting, online
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 荒木 宏子
2. 発表標題 "Financial Literacy, Unobserved Heterogeneity and Investment Behavior in Japan." ポスター(動画)研究報告
3. 学会等名 行動経済学会(オンライン開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 「ゆる体操の理論と実践」教育講演
3. 学会等名 日本健康学会（オンライン開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sao, Kunimasa
2. 発表標題 Good Learning and Epistemic Transformation
3. 学会等名 International Network of Philosophy of Education Virtual Conference 2020（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 スポーツにおける身体の範囲
3. 学会等名 早稲田人類学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 アスリートの身体に対する「ハイブリッド的理解」の形成と失敗 サイボーグのメタファーを超えて
3. 学会等名 第30回日本スポーツ社会学会学生企画シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seino K , Enomoto Y
2. 発表標題 Learning contents and training initiatives to enhance work motivation and retention in the workplace in those with developmental disabilities.
3. 学会等名 59th Annual Conference of Taiwan Psychological Association. Taipei City, Taiwan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seino K
2. 発表標題 Extension of Clinical/Psychological Approach Using Post-Narratology: Possibility of application on Artificial Intelligence and Robot.
3. 学会等名 International Conference on Artificial Life and Robotics 26th. Tokyo, Japan. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Maida K, Seino K
2. 発表標題 Literature review on social cognitive function in autism spectrum disorders.
3. 学会等名 59th Annual Conference of Taiwan Psychological Association. Taipei City, Taiwan. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵・榎本容子
2. 発表標題 発達障害者の就労支援に関連する福祉・雇用・教育の施策の現状と今後の展望 .
3. 学会等名 日本社会福祉学会 第68回秋季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵
2. 発表標題 発達障害のある学生のキャリア意思決定支援の現状と課題・自主シンポジウム 発達障害のある学生のキャリア意思決定を支える専門性とは？
3. 学会等名 日本LD学会第29回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵・榎本容子
2. 発表標題 発達障害児・者の就職・職場定着を支える学習内容～働くことへの意欲を高める取組、職場定着を促す取組～
3. 学会等名 第28回職業リハビリテーション研究・実践発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 清野絵・小野栄一
2. 発表標題 障害者の個別ニーズに対応した衣料の課題の実態と国リハの取組の効果～国リハコレクションの9年間の取組における質問紙調査から～
3. 学会等名 第37回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2020年～2021年

1. 発表者名 清野絵・飛松好子
2. 発表標題 身体障害者補助犬の需要推計の検討：盲導犬，聴導犬，介助犬が適応となる障害者の需要推計式の提案と試算
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学会第22回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清野絵・北村弥生・今橋久美子・飛松好子
2. 発表標題 平成23年生活のしづらさなどに関する調査から見た各障害種別の障害者のニーズの特徴
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学会第22回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 壁谷 彰慶
2. 発表標題 「選択の自由」を選択的注意を通して検討する Wuの 議論を参考に(一般発表)
3. 学会等名 日本科学哲学会大会(オンライン研究会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 壁谷 彰慶
2. 発表標題 「選択の自由」はなぜ・どのように放棄されるべきか(一般発表)
3. 学会等名 科学基礎論学会 秋の研究例会(オンライン研究会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 竹之内裕文『死とともに生きることを学ぶ』へのコメント どうして生きてきたのですか？
3. 学会等名 京都生命倫理研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 ハラスメントの法改正と社会存在論に哲学プラクティスをどう位置づけるか
3. 学会等名 哲学プラクティス連絡会第6回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高年齢者雇用政策における国の選択：方針、戦略、哲学の滲出
3. 学会等名 日本労働社会学会（web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 長期就業を実現する企業の人事管理：若年期から高年齢期に至る人の育成と活用
3. 学会等名 大阪府社会保険労務士会（web開催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 End-of-Life Decision Making: Policy Consideration in a Hyper-Aged Japan
3. 学会等名 AsiaPacific Intergovernmental Meeting on the Fourth Review and Appraisal of the Madrid International Plan of Action on Ageing (Kyushu University, Online) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 Retirement Reforms in Japan: Policy Achievements and Challenges Ahead,
3 . 学会等名 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2022 (Kyushu University, Online) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 " Japan's Death-Laden Society: Five Areas of Policy Challenges in Health and Wellbeing, "
3 . 学会等名 The Fourth Annual International Symposium on Aging & Old Age in Asia-Pacific (Kyushu University, Online) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 " Pension and Retirement Reforms in Japan and China: A Preliminary Policy Assessment, "
3 . 学会等名 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2021 (Kyushu University, Online) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 " What Is 'Death-Laden Society'? - The Future of A Hyper-Aged Japan, "
3 . 学会等名 The Sixth Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Annual Meeting 2021 (Kyushu University, Online) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 Physician-Assisted Dying (PAD): Current Perspectives and Experiences in Japan,
3. 学会等名 The Third Active Aging Consortium Asia Pacific (ACAP) Annual Meeting 2021 (Kyushu University, Online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 The Voice of a Nagasaki A- 4 Bombing Survivor (Kyushu University, Japan) [企画・運営・総合司会 (全て英語による国際研究教育活動)]
3. 学会等名 Kyushu University Global Peace Symposium 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2022 (Kyushu University, Online) [企画・運営・総合司会 (全て英語による国際研究教育活動)]
3. 学会等名 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Higo,Masateru
2. 発表標題 "Understanding Telemedicine and How It Works" [企画・運営・総合司会 (全て英語による国際研究教育活動)]
3. 学会等名 Kyushu University Global Virtual Lab Tour " (Kyushu University, Online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2021 (Kyushu University, Online) [企画・運営・総合司会(全て英語による国際研究教育活動)]
3. 学会等名 Annual International Symposium on Ageing and Later Life 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 水町 勇一郎
2. 発表標題 「デジタルプラットフォームと労働法の課題」(オンライン開催)
3. 学会等名 社研セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 水町 勇一郎
2. 発表標題 「感染症と企業経営と法」(コメント)
3. 学会等名 法と経済学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯・渡辺久里子
2. 発表標題 剥奪指標と健康の関係に関する分析 「生活と支え合いに関する調査」(2017)を用いて
3. 学会等名 社会政策学会第142回(2021年度春季)大会、一橋大学(web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 死因简单分類別の長期時系列死因統計の再構築
3. 学会等名 日本人口学会第73回大会、東京大学 (web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yui Ohtsu and Kuriko Watanabe
2. 発表標題 The Correlation between Deprivation and Health: Evidence from a National Survey in Japan.
3. 学会等名 2021 Congress of the International Health Economics Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津唯・渡辺久里子
2. 発表標題 剥奪指標と健康の関係に関する分析 「生活と支え合いに関する調査」(2017)を用いて
3. 学会等名 医療経済学会第16回研究大会、web開催
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 国際指標で見た日本の居住水準 低所得者への居住保障の脆弱性
3. 学会等名 2021年度生活経済学会関東部会・企画セッション
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 国際指標で見た日本の居住水準 低所得者への居住保障の脆弱性 [講演]
3. 学会等名 国立社会保障・人口問題研究所「政策形成に携わる職員支援研究会」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 コロナ禍で顕在化した医療提供体制の課題と今後の展望 [講演]
3. 学会等名 立教大学経済研究所第9回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 「eスポーツと既存スポーツの差異に関する一考察：ゲームの記号論と身体存在論的位置づけから」研究報告
3. 学会等名 日本体育・スポーツ・健康学会（オンライン開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 「プロフェッショナル競技者の概念的考察」研究報告
3. 学会等名 日本体育・スポーツ・健康学会（オンライン開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 変容的不正義 十全な知識の主体であることを妨げる不正
3. 学会等名 第72回日本倫理学会, 京都大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 証言的正義の徳から解放的徳としての変容へ
3. 学会等名 第64回教育哲学会ラウンドテーブル, 愛知教育大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 義足を身体の一部として使いこなしていくこと - スポーツする身体の社会学的術 (に向けて)
3. 学会等名 第94回日本社会学会研究活動委員会企画テーマセッション, 2021年11月13日@東京都立大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seino, Kai
2. 発表標題 Examining previous research on employment transition support for persons with developmental disability: A literature review of English articles.
3. 学会等名 2021 Taiwan Psychological Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seino, Kai
2. 発表標題 Employment Transition Support for Persons with Mental and Developmental Disability: Literature Review from Japan.
3. 学会等名 Employment Transition Support for Persons with Mental and Developmental Disability: Literature Review from Japan. (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清野 絵
2. 発表標題 身体障害者補助犬を使用する障害者の需要推計方法の検討と試算
3. 学会等名 日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清野絵・若林功・小川浩・縄岡好晴・柴田珠里・千田若菜.
2. 発表標題 ジョブコーチに必要な知識・スキル(2)～支援者の所属機関による相違～
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会第48回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 清野 絵
2. 発表標題 障害者の生活や福祉サービスへの新型コロナウイルス感染症の影響
3. 学会等名 第38回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮坂良子・大館千歳・堤美穂・清野絵
2. 発表標題 障害者のニーズに沿った衣料開発への取り組み
3. 学会等名 第38回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 縄岡好晴・清野絵・若林功・小川浩・柴田珠里・千田若菜
2. 発表標題 ジョブコーチに必要な知識・スキル(1)～訪問型および企業在籍型ジョブコーチの実状～.
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会第48回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若林功・清野絵・小川浩・縄岡好晴・柴田珠里・千田若菜
2. 発表標題 ジョブコーチに必要な知識・スキル(3)～支援者対象者の障害種類による相違～.
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会第48回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今橋久美子・清野絵・緒方徹・樋口幸治・飛松好子・八巻知香子
2. 発表標題 専門職からみた障害者の受診時の困難に関する研究
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学学会第23回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今橋久美子・清野絵・緒方徹・樋口幸治・飛松好子
2. 発表標題 専門職からみた障害者の受診時の困難に関する研究
3. 学会等名 第38回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷卓史, 多根悦子, 西條玲奈, 岸本充生, 壁谷彰慶, 森下壮一郎
2. 発表標題 「切れば血が出る」データの倫理： データサイエンスと インターネット研究の倫理を探る
3. 学会等名 応用哲学会第13回年次研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大谷卓史, 壁谷彰慶, 西條玲奈, 神崎宣次, 大澤博隆, 久木田水生
2. 発表標題 意思決定支援としての研究倫理 - AoIR倫理ガイドラインの原則と倫理分析 -
3. 学会等名 電子情報通信学会技術と社会・倫理研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 職場で障害がある人が働いていることの意義
3. 学会等名 応用哲学会 第十三回年次研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 医学教育モデル・コア・カリキュラムに照らした、社会科学・哲学系教員が開発すべき学習機会・内容の検討
3. 学会等名 日本医学教育学会大会 第53回
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 ファシリテートという観点から見ると、哲学カフェなどの対話の場はどのように整理され、それぞれにおいて何がファシリテートされるのか 経験から語り、質問に答える
3. 学会等名 「ファシリテートされる・する研究会」2021年度南山大学パッセ研究奨励金 1 -A-2「超学際的研究におけるファシリテーションの諸技法と倫理の研究」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菊地 建至
2. 発表標題 「社会で障害がある人の就労排除の克服（就労の促進・職場環境改善）に、差別の哲学はどのように役立つか」
3. 学会等名 高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堤 英俊
2. 発表標題 障害をめぐる学校教育と社会福祉の制度・実践の狭間 - 特別支援学校と障害児入所施設を往復する生活を送る子どもの語りを手がかりに -
3. 学会等名 日本社会教育学会 第68回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 原田琢也, 濱元伸彦, 竹内慶至, 新谷龍太郎, 堤英俊
2. 発表標題 限られた資源をいかに配分することがインクルーシブ教育を推進することになるのか - オーストラリア・クイーンズランド州の『教育調整プログラム』に着目して -
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会 第27回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tsutsumi, Hidetoshi
2. 発表標題 Structure et fonctions ;ducation pour les enfants ayant un handicap mental au Japon : r#233;flexion sur les processus de choix de trajectoire des enfants dans la ' zone grise ' (日本における知的障害教育の構造と機能 - グレーゾーンの子どもの進路選択過程を手がかりに -)
3. 学会等名 『French-Japanese perspectives on disability: Welfare policies and social participation (第1回 日仏障害学セミナー) 』 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金 珍淑
2. 発表標題 障害者雇用促進のメカニズムについての考察 - 組織内情報伝播の視点から
3. 学会等名 『高・障_科研費研 第3回 チーム3研究会』Zoom開催
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 障害者の雇用と働くことの意味 共生社会への道
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会 第49回 (Web開催)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高木 朋代
2. 発表標題 高齢者の就業選択における すりかえ合意 行動 認知的不協和と利他性からの考察
3. 学会等名 日本労働社会学会 (於 専修大学 神田キャンパス : Web開催)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Retirement in Japan: An Overview of Recent Policy Reforms and Challenges Ahead
3. 学会等名 ACAP International Symposium on Older Workers and Retirement (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Retirement in Asia: Current Situations and Prospects in China, South Korea, Taiwan, and Japan
3. 学会等名 Kyushu University Asia Week 2022 Q-AOS Module SDGs Special Seminar (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Higo, Masateru
2. 発表標題 Aging and work in a hyper-aged Japan: An overview of policy challenges
3. 学会等名 ACAP International Symposium on Working Longer in Asia (国際学会)
4. 発表年 2023年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 What ' s next for an aging society? ; A ' death-laden ' Japan and its risks in later life
3 . 学会等名 International Forum on Death and Ageing,The Institution for Social and Psychological Studies, Karlstad University (Sweden) (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 Aging Asia and beyond : Future challenges to health and wellbeing in later life
3 . 学会等名 KYUDAI NOW in Bangkok 2023 (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 Health challenges in hyper-aged Asia: An overview of the aging & later life module
3 . 学会等名 The 6th Kyushu University Medical Region Internationalization Forum (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Higo,Masateru
2 . 発表標題 Module Aging and Later Life & Health CHALLENGES IN Aging Asia
3 . 学会等名 Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) Annual Forum 2023 (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1. 発表者名 山田 篤裕
2. 発表標題 コロナ禍における社会福祉と『つながり』の諸相」(分科会の座長および分科会報告)「高齢者の社会的つながりとコロナ感染症の拡大：孤立の二層性(報告者：泉田信行氏)」の討論者、オンライン開催
3. 学会等名 社会政策学会(第143回)2021年秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田 篤裕
2. 発表標題 「遺族年金・障害年金とその課題 就労と所得保障を促進する政策」(分科会報告座長)
3. 学会等名 社会政策学会(第144回)2022年春季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 遺族年金受給者の就業選択
3. 学会等名 社会政策学会第144回(2022年度春季)大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 統計からみた生活保護 被保護者調査を中心に
3. 学会等名 社会政策学会第145回(2022年度秋季)大会、日本福祉大学
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大津 唯
2. 発表標題 統計リテラシーの重要性 社会保障分野を事例として
3. 学会等名 社会政策学会第144回(2022年度春季)大会・教育セッション
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 「労働の場における共生の実現に向けて：労働における遊戯性の可能性」 自主ワークショップ「障害者の雇用と「働く」ことの意味：共生社会への道」話題提供〔共同報告者：清野絵ほか〕
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会第49回大会(オンライン)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高岡 英氣〔共同報告者：水野哲也ほか〕
2. 発表標題 「医療系大学生における健康に関連する心と身体のフィットネス」一般研究報告
3. 学会等名 日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会(於 順天堂大学)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高岡 英氣
2. 発表標題 体育哲学専門領域 一般研究報告(座長)
3. 学会等名 日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会(於 順天堂大学)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sato, Kunimasa
2. 発表標題 A Non-Ideal Epistemic Aim of Education: Epistemic Injustice, Vulnerability, and Care
3. 学会等名 North American Association for Philosophy & Education (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 証言的不正義、認識的不運、変容的責任
3. 学会等名 2022年度第1回南山大学社会倫理研究所談話会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤 邦政
2. 発表標題 認識的不正義の研究状況
3. 学会等名 第73回日本倫理学会ワークショップ「 認識的不正義 を拓く」, 慶応義塾大学 (オンライン)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡 正
2. 発表標題 企業が障害のあるアスリートを雇う論理が障害者雇用全般に対してもつ可能性と限界
3. 学会等名 第49回日本職業リハビリテーション学会自主ワークショップ7@宮城大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 八巻知香子・甲斐更紗・今橋久美子・清野絵ら
2. 発表標題 障害者の医療機関受診時の困難と好事例に関する研究 - 福祉支援職への調査結果 -
3. 学会等名 第14回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 今橋久美子・富安幸志・矢田部あつ子・清野絵ら
2. 発表標題 障害者の医療機関利用にあたっての課題と好事例の収集に関する調査研究
3. 学会等名 第39回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野 絵
2. 発表標題 発達障害者のテレワークにおける心理、認知的課題と対応策 - 国内および海外の文献調査の結果から -
3. 学会等名 HCGシンポジウム（電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野絵・飛松好子・石川浩太郎ら
2. 発表標題 身体障害者補助犬の使用を希望する障害者に対する情報提供：文献調査および都道府県の公式ホームページの調査の結果から
3. 学会等名 日本身体障害者補助犬学会 第14回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野絵・今橋久美子・富安幸志ら
2. 発表標題 障害者の医療機関受診時の課題と配慮：インタビュー調査の計量テキスト分析
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学学会第24回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 今橋久美子・清野絵・富安幸志ら
2. 発表標題 障害者の医療機関利用にあたっての課題と好事例の収集に関する当事者インタビュー調査
3. 学会等名 日本リハビリテーション連携科学学会第24回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清野絵・若林功
2. 発表標題 障害者の就労支援における 職場適応援助者に必要な知識・スキル - 支援経験年数による相違 -
3. 学会等名 日本社会福祉学会第70回秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野絵・榎本容子
2. 発表標題 企業の意識からみる発達障害のある学生の職場定着のための特徴および大学への支援ニーズ～質問紙調査の自由記述回答の分析から～
3. 学会等名 日本発達障害学会第57回研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野絵・若林功・縄岡好晴ら
2. 発表標題 障害者の就労支援専門職に必要な知識・スキルと支援経験年数の関係
3. 学会等名 第39回国立障害者リハビリテーションセンター業績発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 米田恵子・清野絵
2. 発表標題 Literature review on social cognitive function in autism spectrum disorders
3. 学会等名 第9回成人発達障害支援学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 清野 絵
2. 発表標題 企画趣旨 障害者が働き、活躍するための社会環境づくりとは？ 多様な学問領域の視点からー 自主ワークショップ 7 障害者の雇用と「働く」ことの意味 共生社会への道ー
3. 学会等名 日本職業リハビリテーション学会第49回宮城大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 壁谷 彰慶
2. 発表標題 忘れられる権利の不自然さ・難解さ・実行可能性 メグ・レタ・ジョーンズ『Ctrl+Z 忘れられる権利』から考える
3. 学会等名 技術と倫理 (SITE) 研究会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 堤 英俊
2. 発表標題 マジョリティ性とは
3. 学会等名 日本社会教育学会 第69回研究大会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計37件

1. 著者名 肥後 裕輝	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 308
3. 書名 Ageing in Asia-Pacific: Interdisciplinary and Comparative Perspectives	

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 230
3. 書名 『同一労働同一賃金』のすべて	

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 550
3. 書名 労働法〔第7版〕	

1. 著者名 西脇 暢子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 白桃書房	5. 総ページ数 271
3. 書名 日系企業の知識と組織のマネジメント-境界線のマネジメントからとらえた知識移転メカニズム-	

1. 著者名 山川隆一・水町勇一郎・竹内寿	4. 発行年 2018年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 平成30年度個別労働紛争解決基礎研修テキスト第1編 労働法	

1. 著者名 平成30年度個別労働紛争解決基礎研修テキスト第1編 労働法	4. 発行年 2018年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 平成30年度個別労働紛争解決応用研修テキスト(第1分冊)	

1. 著者名 廣井亮一・中川利彦・児島達美・水町勇一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 256
3. 書名 心理職・援助職のための法と臨床 家族・学校・職場を支える基礎知識	

1. 著者名 水町勇一郎・森井博子ほか	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本法令	5. 総ページ数 199
3. 書名 どうする？働き方改革法 労働時間・休日管理&同一労働同一賃金	

1. 著者名 渡 正(斎藤まゆみ編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 162
3. 書名 教養としてのアダプテッド体育・スポーツ科学 「日本のパラリンピックとレガシー」94-97	

1. 著者名 渡 正(田中暢子ほか編著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 成文堂	5. 総ページ数 340
3. 書名 実践で学ぶ！学生の社会貢献 スポーツとボランティアでつながる 「第2章どのような人と関わるのか (障害者、 、)」47-60,77-83	

1. 著者名 渡 正	4. 発行年 2018年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 256
3. 書名 1964年東京オリンピックは何を生んだのか 「パラリンピックの開催 パラリンピックが生んだもの」99-119	

1. 著者名 山川隆一・水町勇一郎・石崎由希子（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 『令和元年度個別労働紛争解決基礎研修 テキスト第1編 労働法』	

1. 著者名 水町勇一郎ほか（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 『令和元年度個別労働紛争解決応用研修テキスト（第1分冊）』	

1. 著者名 水町勇一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 労働法入門〔新版〕	5. 総ページ数 276
3. 書名 岩波書店	

1. 著者名 水町勇一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 1432
3. 書名 詳解 労働法	

1. 著者名 水町勇一郎	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 330
3. 書名 同一労働同一賃金のすべて〔新版〕	

1. 著者名 野川忍・水町勇一郎編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 346
3. 書名 実践・新しい雇用社会と法	

1. 著者名 水町勇一郎・緒方桂子編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 341
3. 書名 事例演習労働法〔第3版補訂版〕	

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 508
3. 書名 労働法〔第8版〕	

1. 著者名 両角道代・水町勇一郎ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 424
3. 書名 Legal Quest労働法〔第4版〕	

1. 著者名 山川隆一・水町勇一郎・石崎由希子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 令和2年度個別労働紛争解決基礎研修テキスト 第1編 労働法	

1. 著者名 水町勇一郎ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 全国労働基準関係団体連合会	5. 総ページ数 -
3. 書名 令和2年度個別労働紛争解決応用研修テキスト（第1分冊）	

1. 著者名 佐藤 邦政 [鳥飼玖美子・鈴木希明・綾部保志・榎本剛士（編）]	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 210
3. 書名 『よくわかる英語教育学』「主体性」（共著、3、4節担当）(pp.166-167)、「哲学に関わる研究」(pp.186-187)の項目執筆	

1. 著者名 渡 正 [日本スポーツ社会学会編集企画委員会編]	4. 発行年 2020年
2. 出版社 創文企画	5. 総ページ数 265
3. 書名 『2020東京オリンピック・パラリンピックを社会学する 日本のスポーツ文化は変わるのか』 「障がい者スポーツにもたらされるべき変化とは」	

1. 著者名 渡 正 [櫻田美雄・小川伸彦 編著]	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 360
3. 書名 『当事者宣言の社会学』 「障害者スポーツの中の未来 障害者スポーツ選手のアスリート宣言」	

1. 著者名 清野絵・榎本容子・石崎俊 [小方孝(編)]	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 296
3. 書名 『ポストナラトロジーの諸相 人工知能の時代のナラトロジーに向けて 1 』 「障害者リハビリテーション研究における情報学的 物語分析の意義と可能性：テキストマイニングと物語論による混合研究法」 225-243	

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 1478
3. 書名 詳解 労働法〔第2版〕	

1. 著者名 水町 勇一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 514
3. 書名 労働法〔第9版〕	

1. 著者名 渡 正	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 360
3. 書名 『当事者宣言の社会学』「障害者スポーツの中の未来 障害者スポーツ選手のアスリート宣言」	

1. 著者名 木下大生・竹内千仙・ケビン・M・マクマナス（監訳）有賀道生・木口恵美子・近藤寛子・清野絵（訳）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 現代人文社	5. 総ページ数 184
3. 書名 知的障害と認知症 家族のためのガイド	

1. 著者名 山本隆司・水町勇一郎・中野真・竹村知己	4. 発行年 2022年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 436
3. 書名 解説改正公益通報者保護法	

1. 著者名 Gert J. J. Biesta [上野正道 (監訳)、翻訳分担 佐藤邦政 (2021).]	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 256
3. 書名 教育にこだわるということ：学校と社会をつなぎ直す。担当「第3章 世界に精通するようになること：レトリックのカリキュラムを教育的観点から検討する」	

1. 著者名 山本隆司・水町勇一郎・中野真・竹村知己	4. 発行年 2023年
2. 出版社 弘文堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 解説改正公益通報者保護法〔第2版〕	

1. 著者名 石田信平・竹内 (奥野) 寿・橋本陽子・水町勇一郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 292
3. 書名 デジタルプラットフォームと労働法 労働者概念の生成と展開	

1. 著者名 結城康博・河村秋・大津 唯編著	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ぎょうせい	5. 総ページ数 304
3. 書名 わかりやすい社会保障制度 改訂版 はじめて福祉に携わる人へ	

1. 著者名 高岡 英氣 [新井喜代加、武田丈太郎 (編)]	4. 発行年 2023年
2. 出版社 みらい	5. 総ページ数 216
3. 書名 『はじめて学ぶスポーツと法』 「プロスポーツの法的問題」	

1. 著者名 清野絵・榎本容子 (編著)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 208
3. 書名 発達障害の就労とキャリア発達 ライフステージをつなぐ支援	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山田 篤裕 (Atsuhiko Yamada) (10348857)	慶應義塾大学・経済学部 (三田) ・教授 (32612)	
研究分担者	水町 勇一郎 (Yuichiro Mizumachi) (20239255)	東京大学・社会科学研究所・教授 (12601)	
研究分担者	肥後 裕輝 (Terumasa Higo) (80748153)	九州大学・留学生センター・教授 (17102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	金子 能宏 (Yoshihiro Kaneko) (30224611)	日本社会事業大学・社会福祉学部・教授 (32668)	削除：2019年10月31日
研究分担者	西脇 暢子 (Nobuko Nishiwaki) (50315743)	日本大学・経済学部・教授 (32665)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	オックスフォード大学			